

## ▼ジアグノグリーン注射用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 インドシアニングリーン (ICG) indocyanine green 【分類】 肝・循環機能検査用薬

【単位】 ▼25mg/V [5mL]

【用法】 添付文書参照

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 ICG は静注後、急速に血清蛋白と結合して全身分布し、選択的に肝に取り込まれ遊離型として胆汁中に排泄されるため、肝機能検査 (血中停滞率・血漿消失率・肝血流測定)、循環機能検査 (心拍出量・平均循環時間・異常血流量の測定) に用いる

【主な副作用・毒性】 ショック・アナフィラキシー様症状、悪心・嘔吐、蕁麻疹、発熱

【代謝】 代謝を受けない (1)

【排泄】 肝細胞にとり込まれ、投与後約 20 分で未変化体として胆汁中に排泄 (1) 【CL】  $15.0 \pm 0.93 \text{ mL/min/kg}$  [健常人] (1)

【t1/2】 3min (1)

【蛋白結合率】 80% [メインは $\alpha 1$ リボプロテイン] (1)

【Vd】  $72.1 \text{ mL/kg}$  (1)

【MW】 774.96

【透析性】 資料なし (1) 半減期が短いので通常、透析性は問題にならない (5)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない 【O/W 係数】 資料なし (1)

【更新日】 20121224

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。